



ひろしま「共育て」プロジェクトの提案書 作成にあたっての留意事項

広島県健康福祉局子供未来応援課

1 趣旨

家庭内において女性に家事・育児負担が偏っている傾向を踏まえ、男性の家事・育児への参画に向けた意識啓発及び行動変容の促進を行う。

2 目的

子育てをしている当事者をメインターゲットとして、社会全体の意識改革も図りながら、男性の家事・育児参画を促進することにより、家庭内で男女（パートナー同士）ともに仕事や家事、子育てに参画する「共育て」を定着させていくことを目的とする。

3 目標

パートナーからの男性に対する家事・育児の満足度43.1%（R 5年度実績）を、60%に引き上げ、広島県内の「共育て」の定着を図る。

【事業目標の趣旨】

家庭内の状況は様々であり、お互いが納得して共育ての中でできることをやることが重要と考え、そういった状況を測る指標として、パートナーからの評価を目標として設定。

回答者	頑張っている	どちらともいえない	頑張っていない
男性（n=1171）（自身について）	46.8%	32.4%	20.8%
女性（n=873） （パートナーについて）	43.1%	26.5%	30.4%

- 家事・育児を頑張っている男性の割合（パートナーからの評価）
現状値：43.1% ⇒ R7：60.0%
- 全体として16.9%の向上が必要
- 頑張っていない男性は全体の56.9%であり、既に頑張っている男性はそのままの数字で推移すると仮定すると、頑張っていない男性の29.7%を動かす必要がある。（=16.9%/56.9%×100）

夫婦のいる世帯数（核家族世帯）

夫の年齢	子供なし	子供あり	総数
15～19歳	28	42	70
20～24歳	1,217	1,652	2,869
25～29歳	7,206	9,285	16,491
30～34歳	7,826	25,518	33,344
35～39歳	6,323	38,089	44,412
40～44歳	6,874	45,844	52,718
45～49歳	10,851	50,115	60,966
50～54歳	14,367	35,051	49,418
55～59歳	20,402	24,857	45,259
60～64歳	26,858	19,303	46,161
65歳以上	170,354	64,479	234,833
総数	272,306	314,235	586,541

【今回のプロジェクトの主な対象世帯数】

351,708世帯

II

351,708人の夫

うち動かす必要がある人数

351,708人 x 56.9% = 200,122人

200,122人 x 29.7% = **59,436人**

対象者の29.7%を動かす必要

（R2国勢調査）

- ターゲットの背景や「ひろしま共育て大調査」による満足度のギャップ（女性：9割、男性6割）を考慮し、次の行動につながるような施策を提案すること。
- なお、本事業の目標である「パートナーからの男性に対する家事・育児の満足度」に留意しつつ、施策ごとの目標数値及び目標数値を達成するための行動目標を設定すること。

ターゲットの状態・背景			施策の方向性	
夫婦のいる世帯数（核家族世帯、夫が65歳未満） 35・2万世帯	家事をやっていない男性 30.4% 10.7万人	やる意思はない・現状維持の男性 25.5% 2.7万人	から、やらない男性（岩盤層） 2.7万人	認知・意識改革につながる施策
		<u>やらなければならないと思っている男性</u> <u>74.5% 8.0万人</u>	が、やらない男性 37.6% 3.0万人	実際の行動変容につながる施策
			<u>から、やるかもしれない男性</u> <u>62.4% 5.0万人</u>	
家事をあまりやっていない男性 8.2% 2.9万人	現状で十分だと思っている男性 4.8% 0.1万人	<u>もっとやらなければならないと思っている男性</u> <u>95.2% 2.8万人</u>	から、変わらない男性 0.1万人	認知・意識改革につながる施策
			が、変わらない男性 8.9% 0.2万人	実際の行動変容につながる施策 & 夫婦間の満足度のギャップ解消 につながる施策
			<u>から、やるかもしれない男性</u> <u>59.3% 1.7万人</u>	
			<u>具体的な行動を考えている男性</u> <u>31.8% 0.9万人</u>	
自分なりに頑張っている男性 18.3% 6.4万人	現状で十分だと思っている男性 4.8% 0.3万人	<u>もっとやらなければならないと思っている男性</u> <u>95.2% 6.1万人</u>	から、変わらない男性 0.3万人	認知・意識改革につながる施策
			が、変わらない男性 8.9% 0.5万人	夫婦間の満足度のギャップ解消 につながる施策
			<u>から、やるかもしれない男性</u> <u>59.3% 3.6万人</u>	
			<u>具体的な行動を考えている男性</u> <u>31.8% 2.0万人</u>	
パートナーの満足度が高い男性 43.1% 15.2万人				